

あやべ 市議会だより

AyabeCity
Assembly
News Report

2020年(令和2年)
5月発行

No.129



将来へとつながる予算を可決 市議会初!新総合計画への提言書を提出

写真：山家ふれあいの駅・ウォールペイント

綾部市議会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に関わり、3月定例会にてご案内していました日曜議会での代表質問及び一般質問をはじめとする通告のすべてを取り下げ、中止し、傍聴もご遠慮いただきました。市民の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただき感謝を申し上げます。

今後、議会として感染拡大を防止するために全力で取り組んで参ります。

令和2年3月定例会を2月28日から3月26日までの28日間の会期で開催しました。

本定例会では市長から提案された議案41件を審議しました。議案は、いずれも原案のとおり可決・同意しました。(採決の結果は6ページに記載)

上程された議案は、3つの常任委員会に付託され審査しました。その内容は次のとおりです。

予算決算委員会

あらゆる財源の確保により、 将来へとつながる予算

— 令和2年度当初予算・令和元年度補正予算 —

● 予算審査のあらまし

予算決算委員会は3月16日に予定していた総括質疑を、市に新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に全力で取り組んでいただくため、休会としました。

当初予算及び補正予算の審査は3月17日から24日までのうち、5日間にわたり行いました。

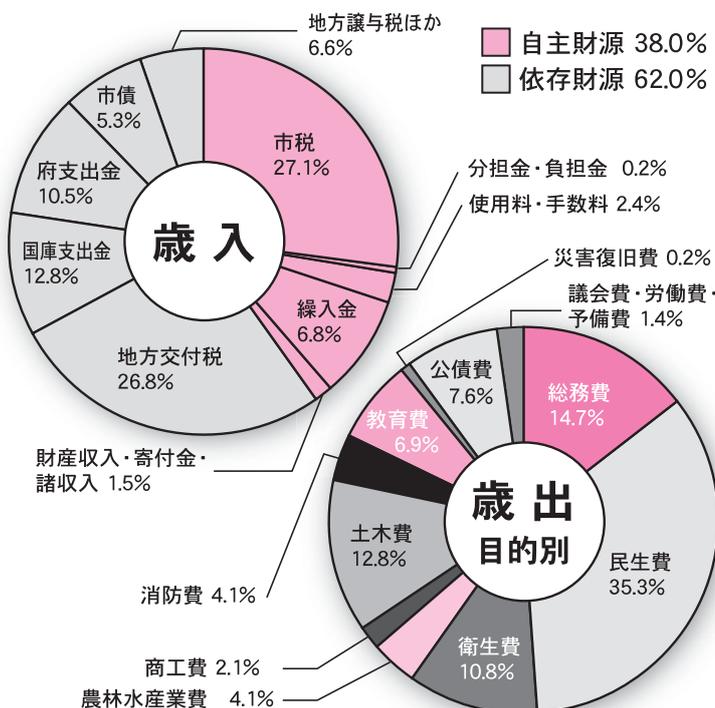
付託された議案は令和2年度当初予算11件(一般会計1件・特別会計7件・公営企業会計3件)と令和元年度補正予算8件(一般会計1件・特別会計4件・公営企業会計3件)の計19件です。

● 令和2年度当初予算の内容

一般会計の予算規模は、166億4739万円で前年度対比2.0%の増となっています。さらに、特別会計7件(総額94億343万円、0.8%減)と公営企業会計3件(総額127億9300万円、9.4%増)を合わせた全11件の規模は388億4383万円となり、前年度対比3.6%増の予算が編成されています。

令和2年度歳入歳出の状況(一般会計)

〈歳入・歳出〉166億4739万円



新年度予算の主なもの

● 一般会計予算

- 西八田放課後学級施設整備事業費 (2863万円)
小学校敷地内に施設を整備し、児童の健全な育成環境の充実を図る。
- I・Tビル大規模改修事業費 (4249万円)
商工業の振興と市民の交流活動の拠点であるI・Tビルの施設改修を行う。
- 宮代豊里線等整備事業費 (4億3767万円)
安全性と利便性を図るため、道路整備を行い、道路環境の充実を目指す。
- 小学校大規模改修事業費 (3369万円)
志賀小学校の屋内運動場を改修し、教育環境と避難所としての機能改善を図る。
- 市制施行70周年記念事業関連経費 (1253万円)
市制施行70周年を迎えるに当たり、新たな時代へと向かう記念事業を行う。

■ 主な意見

審査では、執行部からの説明に対し、委員が質疑を行い、その後、意見調整と採決を行いました。各委員の主な意見は以下のとおりです。

■ 一般会計

- 財政状況が厳しいなか、令和元年度補正予算と令和2年度当初予算を一体的に編成され、次の世代に繋ぐ施策を加速度的に予算化されるとともに、将来への負担を抑制されたことを大いに評価する。
- 特定地域から市域全体に活動範囲を広げるコミュニティナース事業のさらなる活動を期待する。3年間経過した検証を十分行い、事業内容も含めて今後の計画をつくることを求める。
- 子ども家庭支援相談室設置事業費は、児童虐待を未然に防ぐ取り組みや専任職員の配置など支援体制が強化されることを評価する。関係機関とこれまで以上に緊密に連携するとともに、母親と子どもたちにとって核となる相談室となることを期待する。
- 後期高齢者歯科健診事業費はフレイル対策に重要な健診であり、長寿いきいき健診と並行して多くの対象者が受診できるよう、業務委託団体や実施主体の保健推進担当と介護・医療の保険担当が連携し受診勧奨を徹底すること。

- 幅広い年齢層の雇用を確保するため、求職者と企業を繋ぐさまざまな取り組みを評価する。今後の経済状況を見据え、雇用の安定が図られる取り組みに期待する。
- 野生鳥獣被害総合対策事業費について、先進事例の研究をさらに進めるとともに、地域と共同した対策の実施や効果の出た取り組みの周知などを強化されたい。
- 京都府や観光協会、各事業所や民泊事業の方とも連携し、さまざまな角度から本市の観光・交流事業の取り組みが行われていることを評価する。
- 都市計画マスタープランの見直しや都市機能の充実と再整備、市街地南北間の均衡ある都市づくりを検討する立地適正化計画の策定事業に着手されたことを大きく評価する。
- 避難所のバリアフリーなど環境整備を進めるとともにパーティションなど避難所でのプライバシー確保に努力されたい。
- 学校教育研究団体活動事業や研究指定校事業、国際理解教育やふるさと教育など、教職員のスキルアップを図り、子どもたちの学力が向上する取り組みを評価する。

■ 市立診療所等特別会計

- 地域の診療所としての役割は大きい。市内医療機関との連携で医療にかかれぬ人を出さない努力をされたい。

■ 国民健康保険特別会計

- 保険料の均等割りは子育て支援からも免除すること。

■ 介護保険特別会計

- 中部包括支援センターのエリアは広く、相談も多い。包括支援センターは中学校区に1カ所の設置目標からも増設するべき。また市直営の基幹型センターによる支援もされたい。

■ 後期高齢者医療特別会計

- 保険料や窓口負担の引き上げをしないよう求めること。

■ 駐車場特別会計

- 市民が利用しやすい料金設定とし、利用者拡大に努めること。

■ 上水道事業会計

- 滞納徴収の努力を評価する。高料金対策は継続するよう国に求めるとともに、簡易水道統合による条件不利地拡大の影響を考慮し、基準外繰入のための市独自ルールを作成を検討すること。

■ 下水道事業会計

- 雨水貯留施設設置補助事業は、販売店と協力し広報に努めること。

■ 病院事業会計

- 消費税増税や診療報酬マイナス改定と厳しい中、事業内容を十分吟味し、市民のための医療提供に努められたい。

● 令和元年度補正予算の内容

一般会計1件と特別会計4件、公営企業会計3件の合計8会計で補正を行い、総額10億1417万円の増額となりました。

一般会計では、国の補正予算を受け、小中学校のICT推進事業費として4億1020万円の増額、また事業の前倒しで行う旧市民センター解体事業費として1億8495万円が増額されました。他に事業費の確定見込みによる補正です。

● 審査の結果

採決の結果、令和2年度一般会計の1議案は賛成多数となり、残りの18議案は全員賛成で可決となりました。

なお、本会議での採決に際しては、賛成多数となった議案に対し、搦頭久美子議員から反対、梅原哲史議員から賛成の立場で討論がありました。

(5ページに要旨を掲載)

●市営住宅の入居に際し、保証人の要件が外されました

単身高齢者の増加等がある中で、保証人が確保できないために公営住宅等に入居できない事態が生じることがないように、保証人（連帯保証人）に関する規定を削除するものです。

質疑の中で、「入居者が家賃を払えない場合、保証人が亡くなった後の対応はどうか」との質問に対し、「滞納にならないようにしていく。3カ月滞納すれば退去をしなければならない規定もあり、そうならないよう電話や督促状などで対応していきたい」との答弁がありました。

採決の結果、全員賛成で可決となりました。その他、綾部市まち・ひと・しごと創生基金条例の制定等、議案8件については、全員賛成で可決となりました。



借上型市営住宅（味方町）

個人番号通知カードが廃止

●個人番号通知カードが廃止され、再交付ができなくなります

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正により、個人番号通知カードが廃止されることになり、通知カードの再交付のための再交付手数料を定める規定が削除されます。

質疑の中で、「個人番号通知カードの再交付はなくなるということだが、失くしてしまった人はマイナンバーカードを持つ以外にないのか。また、今後生まれてくる方にはどういった対応になるのか」との質問に対し、「通知カードの再交付はなくなるが、これまでと同様に、個人番号入りの住民票の写しを取ってもらうか、記載事項証明を取ってもらうことになる。また、出生された場合は、個人番号通知書が発送されることになっている」との答弁がありました。

さらに、「1年前と比較してマイナンバーカードの交付は伸びているか」との質問に対し、「平成31年3月末現在で3,387枚、10.1%

であったものが、令和2年1月末現在では、4,019枚、12.1%となっている」との答弁がありました。

採決の結果、全員賛成で可決となりました。その他、綾部市森林環境譲与税基金条例の制定等、議案7件については、全員賛成で可決となりました。



マイナンバーカード

令和2年6月定例会の日程予定

6月定例会は、6月1日から19日までの19日間の会期で予定しています。

6月1日(月) 本会議（議案上程）
8日(月) 請願受理締切り（正午）
9日(火)～11日(木) 一般質問
12日(金) 総務教育建設委員会

15日(月) 産業厚生環境委員会
16日(火) 予算決算委員会（総括質疑）
17日(水) 予算決算委員会
19日(金) 本会議（採決）

討論

反対

日本共産党
搦頭 久美子

市民を守る予算を求める

消費税10%増税後、景気悪化が一段と進み、私たちが実施した市民アンケートでも、生活状況が「悪い」の回答は62%。その状況下でも緊縮予算で、原因は国が地方財政の削減を進めていることにもある。市民を守る防波堤として、国にはつきりもの言うべき。

集中豪雨で甚大な被害があった平成30年度決算では、財政調整基金は枯渇せず積み上げをしている。基金（貯金）の合計は約50億円ある。「財政が厳しいから何もできない」というのではなく、基金の1%活用で市民要望の実現は可能。市民応援の予算とすべき。

新型コロナウイルスの影響は深刻。市独自策含め、迅速かつ柔軟な対応を求める。

賛成

創政会
梅原哲史

議第16号

令和2年度一般会計予算

前年度対比実質6%増の予算編成

災害からの復興を目指す厳しい財政状況の中で、一般会計において前年度対比2%増、さらに国の経済対策による有利な財源を積極的に獲得し、3月補正と一体的な予算編成を行うことで、前年度対比実質6%増となる予算を確保された。

これだけの予算規模にも関わらず、歳入は、国、府支出金をはじめ、あらゆる財源の確保に努めることにより、財政調整基金の取り崩しを前年度対比3・6%削減、さらに市債の発行額においては前年度対比19・9%減と大幅な抑制に努めるなど、持続可能な財政運営を基本としつつ、様々な行政課題に対応する施策に重点的に配分を行い、将来へとつながる予算編成である。

同意した人事案件

●綾部市名誉市民の選定

由良 源太郎 さん（本町一丁目）
地域の周産期医療に尽力されるとともに商工振興にも貢献、加えて巨額の私財を寄附されました。

●綾部市副市長の選任

山崎 清吾 さん（延町）＝再

●人権擁護委員の候補者の推薦

渡邊 博幸 さん（睦寄町）＝再
竹内 早智子 さん（栗町）＝再
土田 哲生 さん（新町）＝新

議会情報公開条例に基づく 公文書の開示実施状況

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの公文書開示請求はありませんでした。議会に関する情報開示については、議会事務局（電話42-1259）へお問い合わせください。

手話通訳・要約筆記

令和2年4月1日から本会議等を手話通訳や要約筆記で傍聴ができるようになりました。事前に申込みが必要ですので、詳しくは議会事務局（電話42-1259）へお問い合わせください。

議決結果の一覧

■ 全員賛成で可決・同意した議案

件名		結果
議第1号	まち・ひと・しごと創生基金条例の制定について	可決
議第2号	森林環境譲与税基金条例の制定について	可決
議第3号	行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について	可決
議第4号	監査委員条例の一部改正について	可決
議第5号	市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	可決
議第6号	Uターン者定住支援住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第7号	定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議第8号	職員の分限に関する条例の一部改正について	可決
議第9号	一般職職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
議第10号	固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可決
議第11号	手数料条例の一部改正について	可決
議第12号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決
議第13号	廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部改正について	可決
議第14号	国民健康保険条例の一部改正について	可決
議第15号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決
令和2年度当初予算		
議第17号	市立診療所等特別会計予算	可決
議第18号	農林業者労働災害共済特別会計予算	可決
議第19号	国民健康保険特別会計予算	可決
議第20号	介護保険特別会計予算	可決
議第21号	後期高齢者医療特別会計予算	可決
議第22号	駐車場特別会計予算	可決
議第23号	住宅・工業団地事業特別会計予算	可決
議第24号	上水道事業会計予算	可決
議第25号	下水道事業会計予算	可決
議第26号	病院事業会計予算	可決
令和元年度補正予算		
議第27号	一般会計補正予算（第5号）	可決
議第28号	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
議第29号	介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決
議第30号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
議第31号	住宅・工業団地事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議第32号	上水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議第33号	下水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議第34号	病院事業会計補正予算（第2号）	可決
その他議案		
議第35号	市道路線の認定について	可決
議第36号	訴えの提起について	可決
人事案件		
同第1号	名誉市民の選定について	同意
同第2号	副市長の選任について	同意
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
諮第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意

■ 賛否が分かれた議案

(○=賛成、×=反対)

件名・結果	民政会			創政会			共産党			新国会	公明党	心友会					
	種清	片岡	安藤	本田	酒井	藤岡	荒木	渡辺	柳原	梅原	搦頭	吉崎	井田	中島	村上	森	塩見
議第16号 令和2年度一般会計予算 可決			○														

※議長は採決に加わっていません。



【12月定例会】

自治会力応援の施策・財源充実を

心友会 塩見 麻理子

- Q** 市内一律的な施策ではなく、自治会の実情に沿った一歩踏み込んだ応援が必要では。
- A** 地域コミュニティを維持していくうえで課題。地域の皆さんと意見交換など地域との情報共有がまず一步。
- Q** 財源が必要、周年事業も新規だけでなく既存事業も認めては。
- A** 新たな発想で新たな活用を展開したい。
- Q** 地域にしたら窓口が縦割りでありにくい。たらい回しの対策を。
- A** 部署間の連携を強化し今後の組織充実の中での課題と考えている。



代表質問・一般質問

市政を問う

代表質問及び一般質問が中止となりましたので、今号は、過去1年間の一般質問のうち、掲載できなかった質問を掲載します。



【6月定例会】

消防団への入団は計画策定が必要

創政会 梅原 哲史

- Q** 綾部市消防団の25歳までの入団状況は。
- A** 団員838人のうち最年少が20歳、20歳から25歳までの団員数は13人である。
- Q** 本市にはその世代人口は推定千人。その内の1%程度しか入団していただいていない。縦社会で生きてきた私たちと違い横社会で生きている若年層の入団に必要な計画の策定が必要ではないか。
- A** 地元の方や消防団関係者を通じて、消防団活動への理解と地域防災の重要性について啓発活動を積極的に努めてまいりたい。



【6月定例会】

消防団員確保の取り組みを問う

新政会 村上 宣弘

- Q** 消防団員の不足が問題視される中、本市の平均年齢及び構成は。
- A** 平成30年で40・6歳、年齢構成は40歳代が40%を占める。
- Q** 消防団員確保の問題についての解決策は。
- A** 事業所等に対する入団促進の働きかけ、条例改正、消防団応援の店の推進等の取り組みを継続的に行っている。
- Q** 外国人消防団員の採用に向けての考えはどうか。
- A** 今後、団員確保に向けて、外国人材に限らず取り組んでいく。



【6月定例会】

不法投棄を無くすための対策は

民政会 酒井 裕史

- Q** マイクロプラスチック問題が最近よく取り上げられているが、発生原因はプラスチックごみの不法投棄である。不法投棄を無くすために呼びかけをおこなう必要があると思うが、市として検討されていることは。
- A** マイクロプラスチックのもととなるプラスチックごみが適正に処理され、不法投棄を減らすことができれば発生の抑止になる。警察署や保健所など関係機関と連携し、見回りや警告看板設置で防止に努めたい。



【12月定例会】

清山荘の長寿命化を

民政会 藤岡 康治

- Q** 綾部市にとって介護予防のフラッグシップとも言える清山荘。しかし、築30年以上のこの建物を市はこの先どう管理されるか。
- A** 今後も計画的な修理を行うことにより適正な施設利用が行えるよう、維持管理に努めていきたい。
- Q** 大雨が降るたび、玄関と図書室は雨漏りがしており、このままでは天井にもダメージが残る。対策は。
- A** 屋根の劣化に伴う雨漏りも承知している。計画的に対応していきたい。



【12月定例会】
安定ヨウ素剤の
手引改定の周知は

日本共産党 中島 祐子

Q 国の安定ヨウ素剤の配布の手引きが全面改定された。アレルギーや副作用の可能性は極めて低い、妊婦や乳幼児を含む18歳未満の子はヨウ素剤服用を優先すべき対象者とするなど大きな変更があった。市民への周知は。

A 安定ヨウ素剤の予防服用や効果については平成26年4月に府と共同で原子力防災のしおりを作成し対象の全戸に配布した。配布から5年経過しており、今回、指針改定されたことから、再度周知方法について検討したい。



【12月定例会】
市内介護施設の
人材確保は急務

日本共産党 井田 佳代子

Q 介護施設では、夜勤の体制が組めない、休みが取れないなど、職員不足が続いている。人材確保のため、就学資金貸与やUターンにより介護事業所勤務の場合の家賃補助などあるが、利用状況と新たな対策は。

A 平成30年度、修学資金貸与2名、家賃補助が5名、他市の仕組み・金額と大差はない。介護職員の処遇改善は、人材確保・安定雇用につながると考える。国府施策の動向把握と近隣市とも連携を図り取り組みたい。



【12月定例会】
令和初の出初式への思いは

創政会 柳原 秀一

Q 新会場で挙行される令和初の綾部市消防出初式の構想と、出初式に込められる思い、また、令和3年以降も同じように挙行されるのか。

A 新市民センター完成に伴い、あやべ・日東精工アリーナを会場として実施する。今までの会場と違うため、消防団本部を中心に課題を抽出し、十回の検討会を行った。今後は、課題点を改善し、消防職・団員の士気高揚と市民の皆様の防火・防災意識の向上となる式典となるようにしたい。



【6月定例会】
地域での防災訓練を問う

創政会 渡辺 弘造

Q 毎年行われる綾部市全体の防災訓練は大変重要で、今後とも行わなければならない。

しかし常に防災意識を高めるため、普段から地域ごとの細やかな訓練が重要だと思うが、見解は。

A 毎年の訓練がマンネリ化や形式的になってくると、住民はやらされ感が強くなる。

自治会連合会、消防団、地域の防災リーダーなどと共にできるだけ工夫し、実のある訓練となるよう取り組んでいきたい。



【12月定例会】
西部分遣所の設置を

民政会 本田 文夫

Q 綾部市内小中学校PTA役員対象の令和元年度市民と議会のつどいにおいて、何北ブロックの役員から、西部分遣所の設置要望があった。

A 現在、本署に救急車3台、ポンプ車3台保有しており、その内の救急車1台、ポンプ車1台を西部地区に配置できないか。

A 西部地区における常備消防の配置は、現在の財政状況や消防本部の人員等、さまざまな状況を鑑み、総合的に検討した結果、対応することは困難と考える。



【6月定例会】
本市が目指す教育像は

民政会 片岡 英晃

Q 本市では、教育の三本の柱、あい紡ぎプランなど教育委員会と学校現場が目指すべき指針を示し一体となって取り組んだ成果として、確かな学力と生きる力を身につけることができた。今後の本市が目指す教育像は。

A 自分らしい生き方を探求する教育としてキャリア教育を捉え、学校の授業などの教育活動や教育実践を整理、再構成していきたい。

そして、幸せな社会をつくるための担い手となるような学校教育を推進したいと考えている。



【12月定例会】

国保料「均等割」
子どもは免除を

日本共産党 吉崎 久

- Q 国保料は、世帯の所得割、均等割（人数割）、平等割で決められている。18歳までの子どもの加入者数は。
- A 11月末で515人となっている。
- Q この人数分を免除するにはどの程度必要か。
- A およそ、1447万円が必要となる。
- Q 子育て応援のために、段階的であっても均等割軽減をしては。
- A 現制度で低所得者への配慮策を行っており、均等割免除を行えば、他の加入者への負担が増えるため、実施は困難である。



【12月定例会】

子育て支援を進めるべき

日本共産党 搦頭 久美子

- Q 市が実施した子育て支援ニーズ調査で、暮らしの状況は「苦しい」45%、経済的理由で断念したことは「必要な食料が買えなかった」9・6%の結果。市内給与所得者の収入も減少している中、教育や保育への支援が必要。
- A 教育では、就学援助の基準を生活保護基準の1・5倍とし、生活実態からも認定し対応している。保育では、令和2年度からの「あやべっ子すこやかプラン」で、誰もが安心して子どもを産み育てられる社会を目指す。



【6月定例会】

命を守る実効性ある
避難行動策を

民 政 会 種清 喜之

- Q 綾部人の気質から、自分のために避難はしないが、近所の高齢者等のためには一緒に避難してあげられる方が多いと考える。自分が避難することで周りの方々の命を救う「率先避難者」という避難のあり方は有効では。
- A 実際にお隣さんの声かけにより避難した方もある。令和元年度京都市府と共催で、災害時に地域内で避難開始の呼びかけを行う「災害時声かけ隊」を養成する事業を計画しており、率先避難者の養成に取り組んでまいりたい。



【12月定例会】

新年予算は
単独施策の安定実施を

創 政 会 荒木 敏文

- Q 財政が厳しいため単独施策を見直すことだが、単独施策は市独自の取組として定着し、市民団体や企業が単独施策の支援を活用し計画的に事業を実施してきているもの。市財政の都合で突然やめたりすべきではない。
- A 災害等で財政厳しく、特に単独事業は財源や費用対効果を確認・検証し、一般財源の縮減を図りたい。しかし新年度は現総合計画最終年度でもあり、総合計画の仕上げとして必要な単独施策の予算確保に努めていきたい。



【6月定例会】

観光振興を
どのように進めるのか

公 明 党 森 義美

- Q 年間60万人を超える観光入込客があったが平成30年は度重なる災害により減少した。本市は海の京都、森の京都DMOとの連携による観光地域づくりを中心に進めているが、今後の観光振興についての考えは。
- A 各地域で主体的に取り組んでいただいている事業を積極的に支援している。引き続き、まちなか・東部・西部エリアそれぞれの特色を生かした観光地域づくりを地域の実践者や観光関連団体等と連携して進めていきたい。



【9月定例会】

狭隘な中心部市道に
新道路計画を

民 政 会 安藤 和明

- Q 近年の少子化・過疎化の中で、市街地においても更地化が進んできており、新たな家屋の建設もある。現状の建築指導では2mのセツトバック程度で、狭隘な市道を解消することは困難。道路計画を立てるべきではないか。
- A まちなか居住の促進のため現状では「都市計画マスタープラン」で民間開発の誘導や規制等を行っているが、今後プランの改定が必要となっている。議員の提案も含めて様々な手法の研究と検討をして課題解決を図りたい。

市議会初！ 市長へ新総合計画への提言書を提出

綾部市は現在、令和3年度以降のまちづくりの方向性を示す、第6次綾部市総合計画の策定作業を進めています。

このため、市議会ですべてとなる「総合計画に関する提言書」を、綾部市市民憲章の6つの柱と安全・安心に分類してとりまとめ、去る2月14日、議長から市長に提出しました。

提言は、次のとおりです。（詳細は綾部市議会のホームページでご覧いただけます。）

提言



1 平和を願い、祈りのあるまちにしよう

提言 1 「平和のまち綾部」のブランディングを図り、世界の永久平和実現に向けた取組の発信力強化を



2 自治を高め、心のつながりのあるまちにしよう

提言 2 自治会や市民組織等が行う地域活動を支援し、市民が主役の地域づくりを

提言 3 幅広い人権擁護・啓発に努め、多様性を認め合い真に人権が尊重される社会の推進を



3 教育を大切にし、文化のかおるまちにしよう

提言 4 ふるさと綾部に誇りと愛着を持ち、すべての市民が住み続けたいと思えるふるさと教育を

提言 5 次世代を担う子どもたちが、生き生きと学び成長できる教育環境の充実を

提言 6 一流の芸術や文化に親しむ機会の創出と多様な文化活動への支援で、文化芸術のあふれるまちを



4 環境をととのえ、健康のあふれるまちにしよう

提言 7 妊娠から子育てまで一貫した支援の充実を図り、社会全体で子どもを育てるまちづくりを

提言8 高齢者に対する総合的な施策を充実させ、安心して住み続けられるまちづくりを

提言9 多様なコミュニケーションにより支援体制の充実を図り、障害のある人もない人も同じように暮らせるまちづくりを

提言10 綾部市立病院の充実により、安全・安心な医療が受けられる体制を

提言11 スポーツに親しめる環境づくりを推進し、スポーツを通して健康のまちづくりを



5 産業をおこし、豊かな暮らしのあるまちにしよう

提言12 地域農業の担い手への支援とともに、有害鳥獣被害防止対策の強化を

提言13 森林環境譲与税等を活用し、持続可能な林業経営に道筋を

提言14 地域経済を支える中小事業者への支援の充実で、確かな経営基盤の強化、地域経済の活性化と地元雇用の拡充を

提言15 企業等への支援対策の継続とともに、次世代エネルギーの推進や新たな産業用地の確保による企業誘致を



6 計画を定め、輝かしいあしたをひらくまちにしよう

提言16 都市計画マスタープランを見直し、バランスの取れた市街地整備の推進を

提言17 公共交通計画の策定を行い、誰もが安心して利用できる地域内交通の充実を

提言18 移住立国宣言！ オール綾部で本気の定住施策展開を



7 安全で、安心して暮らせるまちにしよう

提言19 防災・減災対策の強化と、「自助」「共助」「公助」の連携及び防災意識を高める施策の充実を

提言20 消防団員の活動環境の改善で消防団員確保を図り、地域防災力の充実を

提言21 消防の広域連携により消防・救急体制の強化・充実を

次世代からの メッセージ

西八田ファイターズ

初めは、西八田、東八田それぞれ別のクラブでしたが、4年前から合同のチームで、現在は2年生から6年生まで11人(東八田9人、西八田2人)が活動されています。バレーボールを通じて、自分のことだけでなく、他の人のことも考え、思いやれる人になってほしいと指導されています。

部員を募集中!

毎週土曜日、午後1時から5時まで
日曜日、月2・3回、1日
気軽に見学にお越しください。



チームのどんなところが好き?

- ・学年関係なく仲が良く、遊んだり、練習しているところがチームの中で好きなおとこ。
- ・みんな仲良しなおとこ。
- ・バレーボールをみんな楽しんでおとこ。
- ・西八田ファイターズは、西八田と東八田の合同チームだけど、みんなとても仲が良い。
- ・1年生から6年生まで学年関係なく話せるおとこが好き。
- ・声が出てないときや暗くなったときに声をかけてくれたり明るくしてくれるおとこ。
- ・元気に楽しく遊ぶときは遊んでしゅうちゅうするときやしゅうちゅうをしゅうちゅうしてバレーをするおとこ。
- ・みんながやさしくて笑顔でいられるおとこ。
- ・バレーを楽しそうにやっておとこ。
- ・負けたらくやしがつて、勝ったらよろこべるおとこ。
- ・さいごまで、みんな、ほんきでやっつてがんばられるおとこ。
- ・チームのふんいきがくらくらなくなつたら、自分から声をかけおとこ。
- ・チームがいいふんいきのときに笑顔でいれるおとこ。
- ・みんな明るく仲がいいおとこ。
- ・みんな、1人1人にやさしくしておとこ。

将来の夢・目標は?

- ・私の目標は、きれいに、しゅちゅうアンタが出来るようになるおとこ。
- ・助産師になりたい。
- ・目標は、これから練習をがんばつて試合で勝てるようにおとこ。
- ・料理人。料理をみんなに食べてもらつて、笑顔をふやすのが目標。とてもおいしい料理を作つてお金をためて大きなおとこを建てるおとこ。
- ・ダンサー。わたしは、体でひょうげんするのが好きだから、ダンスをつかつて、体でひょうげんしたい。そして有名になりたい。

取材を終えて

「こんにちは! よろしくお願ひします。」とみんな整列して元気に迎えてくれました。西八田・東八田の子供達が元気に練習されていました。練習には、卒業したOGも参加されていて年齢や地域に関係なく、仲間を思いやり礼儀を大切に活動されていると感じました。また、水分補給も各自で判断して行つておられました。チームを卒業してもほとんどが八田中学校の同級生になると思います。大好きなバレーボールが上達するように頑張つて下さい。活躍を期待してこれからも応援していきます。

編集後記

毎年、3月定例会では日曜議会を開催し代表質問・一般質問を行つておりましたが、市に新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に全力で取り組んでいただくため、総括質疑を含め取り止めました。

令和元年度補正予算、令和2年度当初予算については、日程どおり全議員で構成する予算決算委員会にて慎重審査を行い、新年度がスタートしたおとこです。

広報広聴委員会では、議会だよりの編集にあたり、代表質問、一般質問がなくなり紙面の一部を変更し発行いたしました。ご理解をよろしくお願ひ申し上げます。

今後も皆様に親しまれる議会だよりのなるよう努めてまいります。ご意見、ご要望をお聞かせください。

